

ウエルハーネスだより



191号

理事長からの言葉

新緑が美しいすがすがしい季節になってきました。風薫るという言葉が、実感として味わえます。コロナ禍さえなければと思います。

先日、知人が仕事で海外に行くのに、ワクチンパスポートを作るため、PCR検査を受けに行きました。そこで話ですが、最近PCR検査を受けに来る人の50%が陽性になるそうです。職場や学校で検査を受けて陽性反応が出た人がいるので、それではと検査を受けたら自分も陽性だったということで、いかに自覚症状が無い感染者が多いかという話です。「自覚症状がない」一発熱、鼻水、咳などの痛みなどの身体の不調のサインが無いということです。いつの間にかうつっていて、うつてしまっているのかも知れません。今、現在日本にいる人全員にPCR検査を実施したらかなりの数の感染者がいるのではないかでしょうか。

1都3県の高齢者施設の職員は日本財団のご厚意で定期的なPCR検査を無料で受診させていただいています。当法人の施設で働く職員は清掃や厨房の委託会社の社員も含めて全員、最低2週間に1度のPCR検査を受診しています。今の所、陽性者はいませんでした。その他、日本財団から臨時に検査できる郵送用のキットもいただいていて、濃厚接触者が仕事に復帰する場合や感染が疑わしい場合など使わせていただきました。お陰様で皆が安心して仕事に取り組むことができています。

その日本財団のPCR検査が4月一杯で終了することになりました。日本財団に検査代を負担する余裕が無くなったりと、まん延防止重点措置も終わり、コロナに対する対応を見直しましょうという事らしいです。私どもとしては埼玉県に来月以降のPCR検査を実施していただけないかとお願いしています。ですが、検討はしますが財源的にかなり難しいとの話をいただいています。現在、法人としては埼玉県からいただいた抗原検査キットが100セット、独自に買った抗原検査キットが200セット弱あります。今後は、この抗原検査キットを使うことになりますが、皆さんご存知のように症状が無い場合、抗原検査はほとんど有効で

はありません。抗原検査は陰性だったが、PCRでは陽性だったという事例を実際にこの目で数件見ています。また、費用の問題もあるので、今までのよう全員を対象に定期的に抗原検査を行うというのはかなり難しいかと思います。そこで皆さんのお力を貸していただければと思います。私どもも埼玉県にお願いを続けますが、皆さんも埼玉県あるいは上尾市にお願いができる方はしていただければと思います。

ただ、そろそろコロナに対する接し方を見直す時期が来ているのではないかと思います。現在の感染症の扱いを韓国のようにインフルエンザ並みにする時ではないかと思います。感染者が出た施設に聞くと皆さん口をそろえて、症状は2~3日で治まるし、普通の風邪の対応で大丈夫だった、でも重症化しない代わりに感染力が半端ないので職員が感染したり濃厚接触になってしまって出勤できなくなってしまう、防護服等過度の感染対策をしなければならないので、職員の負担が半端ない、本来きめ細かに対応しなければいけない重症化リスクの恐れのある人のケアが不十分になってしまいう等の弊害を訴えています。また、クラスターになると、マスコミは大きく報道します。

介護業界はアジア諸国からの技能実習生や留学生を多く受け入れようとしていますが、実習生や留学生の日本離れが始まっています。ただでさえ日本語というハンデがある上に厳しいコロナ規制のため、日本が選ばれなくなって来ています。

3~4月の行事

特養では、お茶会でプリンやゼリー、普段とは違う本格的ドリップコーヒーなどを召し上がったり、利用者様どうしがお話をされたり和やかに過ごされました。また、気分転換に春の陽気を感じて頂きながら、施設周辺を散歩するユニットもありました。

デイでは、花の丘公園へ季節のお花見へ出かけました。また、端午の節句の鯉のぼり制作をしたり、おやつ工房では、たい焼き作りを楽しまれました。

4~5月の予定

5/5(木)は、端午の節句のイベント食として「たけのこご飯・すまし汁・豆腐ハンバーグ・レンコン金平・そら豆とポテトのシーザーサラダ・ストロベリームースケーキ」を予定しています。

特養では、ユニット毎に誕生日会や母の日のレクを考えています。

デイでは、水彩画や壁画作り、脱線ゲームや風船ゲームを行う予定です。また、5/18・19には、春の向山運動会を開催します。



